

令和2年度 東区特色ある区づくり事業 「じゅんさい池 未来プロジェクト」について

1 事業の目的と概要

- 貴重な緑地環境を有し、観光資源でもある砂丘湖のじゅんさい池を未来につなぐため、じゅんさい池公園の魅力を広く区民に周知するとともに、自然環境を活かした憩いの空間づくりに努める。
- 地域住民や専門家の意見を踏まえ、じゅんさい池の環境保全や活用方法および地域との役割分担を検討する。

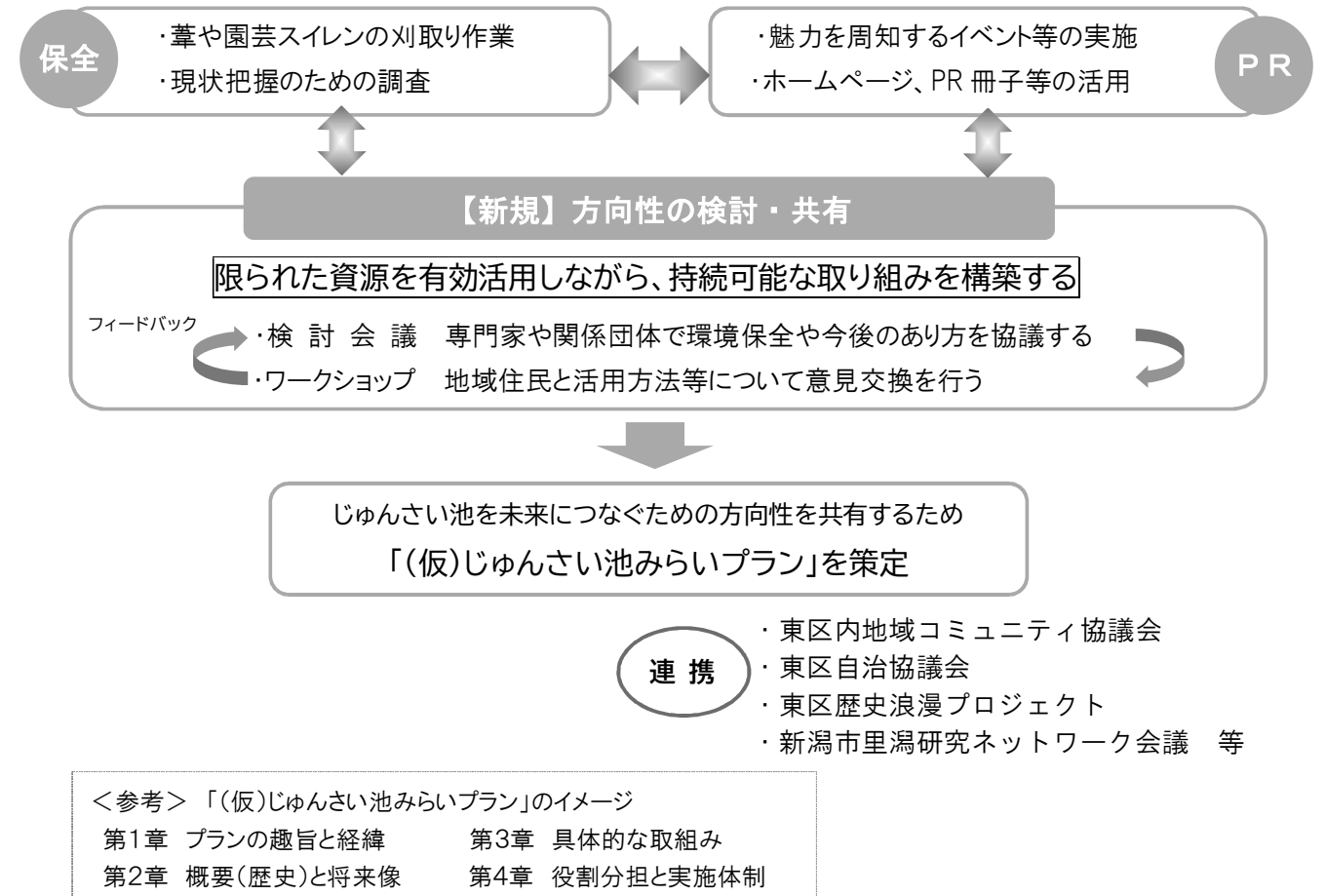
2 全体スケジュール

～H29	H30～R1	R2	R3	R4
地元コミ協等による 取組み (建設課) 公園等樹木環境保全事業・じゅんさい池公園 水辺環境保全事業	東区自治協議会 提案事業 (実施内容) 葦刈取り作業 外来種除去 セミナー ワークショップ	特色ある区づくり 事業 (実施予定) 葦刈取り作業 外来種除去 魅力のPR 方向性の検討 等	→ 引き続き方向性の検討等を実施	「(仮)じゅんさい池 未来プラン」に 基づく取組み
		「(仮)じゅんさい池未来プラン」策定に向けた検討		「(仮)じゅんさい池 未来プラン」策定
「東区ビジョンまちづくり計画」(H27～H34) 第3章 目指す区のすがた「IV魅力あふれるまち～自然環境を活かした憩いの空間づくり～」 ○自然環境の活用と保全 ○水辺を活かした魅力づくり			「東区ビジョンまちづくり 計画」改定作業	

3 東区自治協議会での取り組み

H30	R1
葦刈取り作業 実施日 平成30年6月17日(日) 内容 じゅんさい池西池の葦刈取り 参加者 約80人	じゅんさい池ワークショップ 実施日 令和元年6月26日(水) 内容 池との関わりや思いについて意見交換 参加者 45人
園芸スイレン・ミシシippアカミミガメ除去作業 実施日 平成30年10月21日(日) 内容 じゅんさい池西池の園芸スイレンや、ミシシippアカミミガメの除去 参加者 約70人	葦・園芸スイレンの刈取り作業 実施日 令和元年7月7日(日) 内容 じゅんさい池西池の葦・園芸スイレン等の除去 参加者 約90人
東区まちづくりセミナー 「じゅんさい池と東区のみちづくり」 実施日 平成31年2月2日(土) 内容 第1部 基調講演 「じゅんさい池 地元学の勧め」 第2部 パネルディスカッション 「これからの東区のみちづくりの姿」 参加者 138人	東区まちづくりセミナー 「じゅんさい池ってどこ？ まちづくりってなに？」 実施日 令和2年2月16日(日) 内容 第1部 基調講演 「事例に学ぼう！ 東区のみちづくり」 第2部 意見交換会 「あなたのまちのあるもの探し」 参加者 98人

4 今後の展開



5 R2年度予算額

- 特色ある区づくり予算 380万円 (地域課: 150万円 区民生活課: 230万円)

<参考> H30決算額・R1年度決算見込額 (自治協提案事業)

H30	93.4万円 (葦刈り委託料 87.5万円、報償費 3.7万円 ほか)
R01	171.3万円 (葦刈り委託料 80万円、仮設電源工事 73.5万円、報償費 8.3万円 ほか)

6 庁内の役割分担 (R2・3年度)

	個別事項	方向性の検討
相互に 連携	区民生活課	・葦刈取り作業、外来種除去
	建設課	・公園の維持管理 ・葦刈り作業にかかる技術協力
	地域課	・有識者会議、ワークショップ実施 ・魅力のPR
		<環境保全の視点> <公園維持管理の視点> ・予算措置の検討(財務課と協議) <まちづくり・魅力づくりの視点> ・全体調整、取りまとめ

豊かな産業とやすらぎの水辺が調和し
笑顔と元気があふれる
空港と港があるまち

東区だより

2020年6月21日

毎月第1・3日曜発行

わいわい東区 TALK トーク

No.316

【編集・発行】新潟市東区役所 地域課
〒950-8709 東区下木戸1-4-1

☎025-272-1000 (代表)

● 東区データ 面積 38.62km² 人口136,013人(-98) 世帯数61,634(-14) 男65,620人(-61) 女70,393人(-37) ※5月末現在の住民基本台帳。カッコは前月末比

東区特色ある
区づくり事業

住宅街の中に残る貴重な砂丘湖!!
左が西池、右が東池です

未来へつなぐ じゅんさい池

令和2年度東区特色ある区づくり事業「じゅんさい池みらいプロジェクト」では、貴重な緑地環境を有し、観光資源でもあるじゅんさい池を未来につなぐため、魅力を広く周知し、自然環境を活かした憩いの空間づくりに努めるとともに、池の自然環境保全を図ります。

問い合わせ 地域課(☎025-250-2110)

\\じゅんさい池を上空から見るとこんな形//



画像提供：新潟市里湯研究ネットワーク会議

東区自治協議会提案事業での取り組み～平成30年度・令和元年度～

葦刈り取り・外来種除去作業



地域の皆さんと一緒に西池の葦刈り取り作業や、外来種である園芸スイレンの除去などの環境保全活動を行いました。平成30年度は2回実施し約150人、令和元年度は約90人が参加しました。

ワークショップ

令和元年度に開催したワークショップでは、新潟県立大学の山中知彦教授をコーディネーターに迎え、じゅんさい池との関わりや思いについて意見交換を行いました。



※各グループの意見を記録した図の抜粋

東区まちづくりセミナー

じゅんさい池の歴史や他都市の事例などを学び、東区のまちづくりを考えるセミナーを開催しました。参加者からは、「地域の魅力について考えるきっかけになった」、「つないでいくことが大切と感じた」などの声が寄せられました。



これらの取り組みやワークショップなどでの意見を受け、令和2年度からはじゅんさい池の環境をどのように守り、活用していくべきか、区民の皆さんや専門家の意見を聞きながらじゅんさい池の未来を考えていくプロジェクトに取り組みます。

じゅんさい池みらいプロジェクト

主な取り組み

- ◆ 将来像の検討
- ◆ 環境保全活動
- ◆ 魅力のPR

東区の宝の一つ
じゅんさい池の
未来を皆で考えよう!



なるほど! じゅんさい池

名前の由来

その名のとおり、つるんとした食感が特徴の水草「ジュンサイ」が生育していることに由来します。昭和50年ごろまでは、たくさんのジュンサイが採れ地域の特産品でしたが、周辺の宅地化などに伴い昭和54年に池の水位が下がり、枯渇したことにより全滅してしまいました。

現在は、その後に旧笹神村から移植したものが定着し、少量ですが西池に生育しています。



地域の皆さんの声

～5月21日 東池・西池にてインタビュー～



雨の日でもほぼ毎日ウォーキングしています。木々や草花、鳥の声など、目にも耳にも心地良いです。
(東池にて・女性)

40年以上前から暮らしていますが、当時は住宅も少なく、うっそうとした松林でした。今はたくさんの方が訪れる公園になってうれしいです。
(東池にて・男性)

じゅんさい池を題材に油絵を描いています。四季折々の風景は何枚描いても飽きません。緑の季節だけでなく、雪景色もきれいですよ。
(西池にて・男性)